

構造と動作

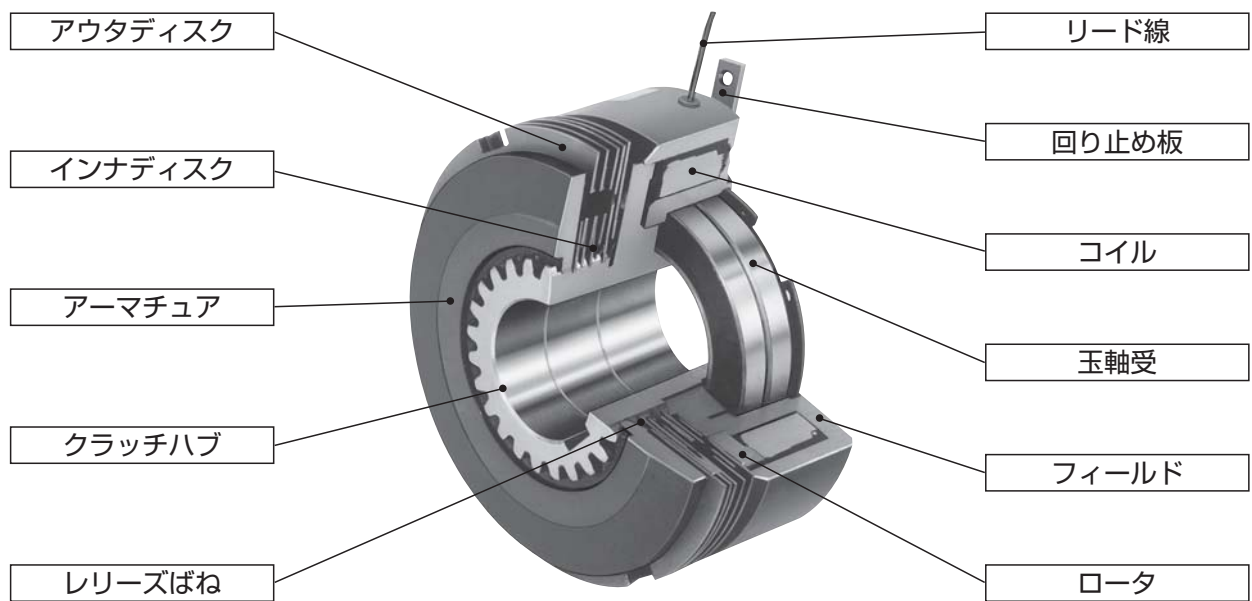
クラッチは、ロータと一体となったクラッチハブのスプラインに、インナディスク、アウトディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組み込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングをかん合して、トルクを伝達します。

ブレーキは、フィールドに固定されたアウトストップに、アウトディスクとインナディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後にアーマ

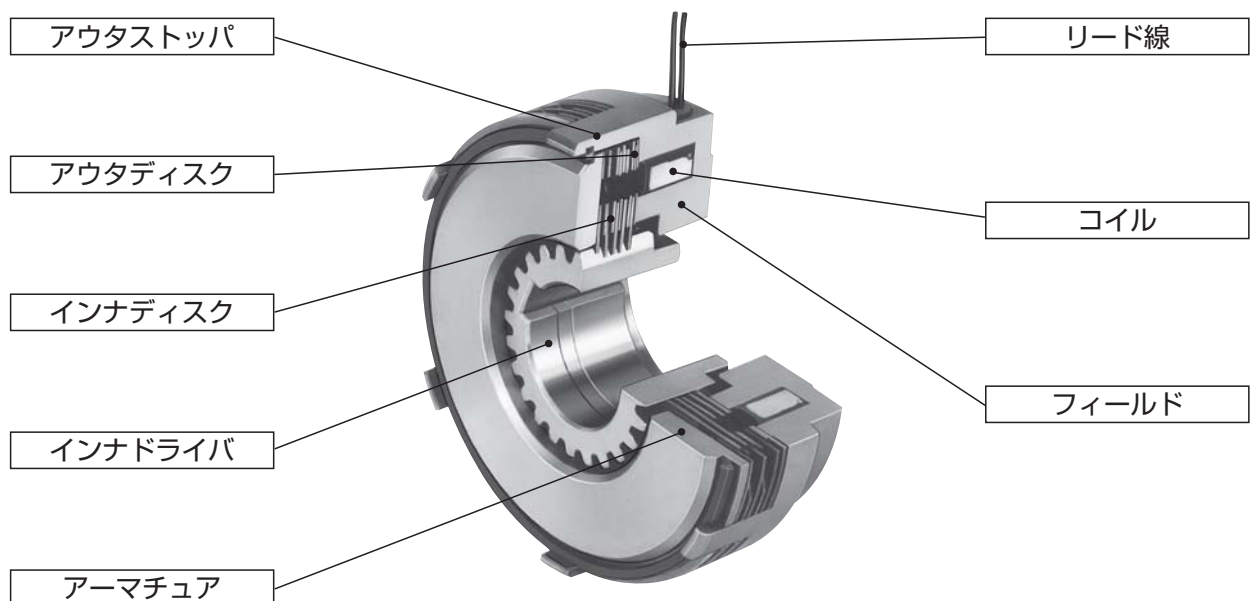
チュアを組み込んだもので、インナディスクのスプラインにインナドライバがかん合しています。

コイルに通電すると、フィールド、ロータ、ディスクおよびアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュアおよびディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切ると、リリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。

ブレーキの動作も同様です。



MWC形 クラッチ



MWB形 ブレーキ